

【令和6年度】教職課程に関する自己点検・評価

免許法施行規則および令和6年度実施分の大学機関別認証評価に基づき本学で実施した「自己点検」および「自己評価」の結果を公表するもの。

- ・「○」基準を満たしている
- ・「△」基準を満たしているが、改善を要する事項が認められる。
- ・「×」基準を満たしていない。改善を要する。

基準	評価事項	評価基準	評価実施主体	評価	改善事項の概要
1	理念・目的	教員の養成の目標及び当該目標を達成するための計画を適切に設定していること	教職支援センター	○	
2	内部質保証	内部質保証に係る体制が明確に規定されていること	教職支援センター	○	
		教育職員免許法施行規則第22条の6 および22条の8に定められた事項、自己点検・評価結果等を適切に公表していること（「基準3：管理運営」を含む）	教職支援センター	△	自己点検・評価結果については令和6年度中に公表する。
3	管理運営	教員と事務職員等とが適切な役割分担の下、必要な連携体制を確保していること	美術学部・美術研究科	○	
			音楽学部・音楽研究科	○	
4	施設・設備・学生支援	教職志望を高めるための支援等を適切に行っていること	美術学部・美術研究科	○	
			音楽学部・音楽研究科	○	
		ICT環境、模擬授業用の教室、関連する図書など、教職課程に必要な施設・設備の整備を適切に行っていること	美術学部・美術研究科	△	ICT環境をはじめとするさらなる施設・設備の拡充に向けて、今後も継続して予算確保に努めていく。
			音楽学部・音楽研究科	△	ICT環境をはじめとするさらなる施設・設備の拡充に向けて、今後も継続して予算確保に努めていく。
		教職課程の履修にあたり、履修便覧やガイド、シラバス等の配布物および学生窓口において適切な履修指導を行っていること	美術学部・美術研究科	○	
			音楽学部・音楽研究科	○	

6	教育課程・学習成果	1年間の授業を行う期間が原則として35週にわたるものになっていること	学生課	○	
		授業科目のシラバスについて、全件、全項目をもれなく適切に入力していること	美術学部・美術研究科	△	一部の科目については記入漏れが散見されるため、全項目が入力されるように授業担当教員への指導を徹底する。
			音楽学部・音楽研究科	△	一部の授業科目の記載内容の見直しを進めている。
		成績評価基準に則り各授業科目の成績評価及び単位認定を厳格かつ客観的に行い、組織的に確認していること	学生課	○	
		教員の職を志す学生が適切に教員免許を取得し、実際に教員へ就職していること	学生課	△	卒業・修了時アンケートの改善事項と関連し、定点的な観測・管理を行い、教職希望者の増加や支援につなげていく。
		教職課程において特に重要な役割を果たす教職実践演習、教育実習について、事前指導・事後指導を含め、大学の主体的な関与の下で適切に行われていること	美術学部・美術研究科	○	
			音楽学部・音楽研究科	○	
		卒業時・修了時アンケート結果における教育課程への満足度について、適切な水準を保っていること	学生課	△	教育課程としての調査のみならず、今年度中に教職課程に関する設問を追加し調査を実施する。
教職課程を担う教員として望ましい資質・能力を身に付けさせるためのファカルティ・デベロップメント（FD）、スタッフ・デベロップメント（SD）を実施していること	美術学部・美術研究科	△	FDについては、新型コロナの影響もあり、教職課程担当教員の意見交換は少人数での実施にとどまっているためより組織的なFDの実施に努めていく。		
	音楽学部・音楽研究科	○			

【特記事項】	なし
【優れた成果】	なし
【改善を要する点】	各基準の「改善事項の概要」へ記載